

# 平成27年度部長マニフェスト取組結果

部(局)名	選挙管理委員会事務局
部(局)長名	吉川 英次

【達成度について】

A：達成（設定した目標を達成することができた。）

B：一部達成（設定した目標の一部のみ達成することができた。）

C：未達成（目標達成に向け取り組んだものの、目標達成にはいたらなかった。）

重点課題 1	効率的な選挙の執行	全体の達成度 <b>A</b> 達成
目指すべき方向	効率的な選挙の執行体制を確立し執行します。	

活動目標	具体的な取組実績
執行経費の節減をはかります。	4月に執行した市議、市長選については、立候補者数が前回は大きく上回ったため、総経費は増えてきましたが、職員の配置や自書式投票用紙自動読取分類機（OCR）の効率的な活用等により、職員手当の削減を図りました。また、秋の知事選挙においては、時期が国勢調査と重なったためバックヤードの確保ができず、仮設事務所（プレハブ）を建てたことによる経費が新たに増えてきましたが、その他経費については削減に努めました。
開票時間の適正化に努めます。	開票体制の見直しと、自書式投票用紙自動読取分類機（OCR）8台の導入により、これまでのように単に開票時間の短縮だけを目的とすることなく、正確性を第一に考えた開票時間の適正化を図ります。

達成目標	達成状況	達成度
これまでの同種選挙と比べ執行経費の節減を図ります。	重点選挙である市議、市長選挙において、これまでから積み上げてきた派遣職員の活用と自書式投票用紙自動読取分類機（OCR）の活用により、選挙一般業務において従事職員数の削減が可能となりました。また、秋の知事選挙においても同様に経費を節減することができました。	A 達成
各選挙に応じた開票時間の適正化に努めます。	市議、市長選、知事選挙において前回より職員数をさらに削減する中で、いたずらに開票時間の短縮のみを目的とするのではなく、無駄がなく、かつ適正な開票作業を実施することができました。	A 達成

## 総合評価・総括

平成26年12月に執行された衆議院選挙から投開票体制の大幅な見直しを行い、派遣職員やシルバー人材センターの職員を活用し、従事職員数の削減を行ってきました。その流れを受け、4月の市議、市長選挙、11月の知事選挙についても、開票従事員のマイクロバス利用の効率化等を行うことにより、各選挙時特有の状況を除き、一般業務においてはさらなる経費の節減を図ることができました。また、開票時間についても、いたずらに時間短縮のみを追求することなく、正確性を第一に考えた開票体制の見直しを行い、効率的な作業を進めることにより、すべての選挙において適正に執行することができました。